



那覇市立教育研究所

所報第8号

平成21年11月6日

那覇市金城3-5-3

所長 池間生子

全国学力・学習状況調査

結果分析説明会を終えて

所長 池間生子

「那覇市の結果の公表と合わせて資料の提供を行い市の全体的な課題を確認し、それを踏まえ各学校の具体的な取り組みに生かす。」を分析説明会の目的として行いました。

① 自校の結果を他と比べた結果で評価するのではなく、自らの学校を積極的に分析する。

② 良い点の継続と課題への対応を確認する。ア校長先生、教頭先生が担わなければならないこと

イ先生方が努力しなければならないこと
ウ児童生徒への要求と児童生徒が努力すべきこと

エ保護者へ協力してもらうこと

③ 改善策の焦点をしぼり、明日からの授業に生かす。

中学校の数学・国語教諭全員、小学校の学年から一名の教諭、そして校長・教頭と一堂に会して一時間三〇分の説明会でした。説明会終了後、所内での反省会では次の三点に絞って意見交換を行いました。

① 中学校説明会で行った「教科書を用いた教材研究」「テストの問題を解く」ワークショップは効果的であったか。

② 明日からの授業に生かせる内容であったか。

③ 資料を作成した意図を伝える手順や話し方はどうであったか。

研究所でも常に課題を確認し学校現場の実践に参考になる研修会のあり方を考えていきたいと思っています。
質のいい研修会を目指して努力します。

研究員の研修計画紹介

- 10/ 1 (木) 「入所・オリエンテーション」
- 10/ 6 (火) 「入所式」
- 10/ 6 (火) 「研修1」 研究の進め方Ⅰ
- 10/ 7 (水) 「研修2」 所長講話 教育研究について
- 10/22 (木) 「テーマ検討会」 テーマ設定の理由の明確化
- 11/ 4 (水) 「項立て検討会」 研究の柱となる流れの検討
- 11/11 (水) 「研修3」 研究の進め方Ⅱ
- 11/19 (木) 「中間検討会Ⅰ」 理論の明確化
- 11/25 (水) 「所内講座」 沖縄の伝統文化講座
- 11月~12月 「検証授業」 研究授業
- 1/27 (水) 「中間検討会Ⅱ」 実践の成果と課題の明確化
- 2/16 (火) 「原稿検討会」 研究報告書の原稿確認
- 2/未定 () 「所内講座」 話し方講座
- 3/ 3 (水) 「所内講座」 プレゼンテーション講座
- 3/26 (金) 「成果報告会」
- 3/26 (金) 「修了式」
- 3/31 (水) 「研究修了」

現在計画中の内容です。
その他 講座・研修については、調整中。

10/22 (木) 「テーマ検討会」の様子



緊張する空気の中、真剣に理論、文章の表現・解釈等を検討していきます。

全国学力・学習状況調査結果分析説明会

【中学校数学】



那覇市においては3年間で全国平均との差は確実に狭まっている。学力調査から課題のある箇所を授業で扱う場合、確かな理解に繋がるような授業改善を行うこと、また、研究授業会の際には、指導案検討の段階からその充実を図ってほしい。



【中学校国語】



正答率の経年比較からみると、国語Bにおいて着実に差が狭まっている。課題として、漢字の書き、主語述語の適切な関係の理解、同音異義語の使い分け、国語辞典の活用に関する事など、言語事項に関する課題が多い。授業の工夫改善が望まれる。



【小学校算数・国語】



課題への対応としては、1年生から6年生までの単元のつながりを意識して指導に取り組むことが大切です。日頃の授業の成果を積み重ねていくことが重要です。



成果 国語A・Bとも、着実に全国正答率に近づいている。
課題 国語A：ローマ字の読み書き、接続語を使って一文を二文に分けて書くことなど、言語事項について課題がある。
国語B：報告文を読み、必要な事柄を整理したり、指示された文字数内でまとめたりすることに課題がある。

